

近年の防災ボランティア活動の被災地でのあゆみ

これまで全国各地の被災地で防災ボランティア活動が展開されています。

ここでは、平成以降で多くのボランティアが参加した主な災害を記載しています。これ以外でも近隣での助け合いやボランティア活動は行われています。

これまで発生した災害の経験を踏まえて、防災ボランティア活動は進化し、現在、被災地において大きな役割を果たしています。

平成19年3月 能登半島

平成9年1月 ナホトカ号海難・流出油災害(

平成16年7月 福井豪雨(60,20



避難所での足湯の様子（新潟県刈羽村）
写真提供：菅磨志保



仮設住宅での地元ボランティアとの打合せの様子（石川県穴水町）
写真提供：特定非営利活動法人レスキューストックヤード



家屋内の片付けをしている様子（山口県岩国市美川町）
写真提供：美川町災害ボランティアセンター

平成16年10月 台風第23号(44,500人)

平成21年8月 台風第9号(22,700人)

平成16年8月 台風第16号

平成12年10月 鳥取県西部地震

平成21年7月 中国・九州北部豪雨(9,700人)

平成17年3月 福岡県西方沖を震源とする地震

平成13年3月 芸予地震

平成16年

平成13年9月

平成17年9月

平成15年7月 梅雨前線豪

平成9年7月 鹿児島県出水市土石流災

